



2月 (最終報告会)

4月

6月

8月

10月 (中間報告会)

12月

2月 (最終報告会)

3月

1年の流れ (イメージ)

応募・決定

準備期間

活動期間

活動期間

サポーター認定

例(A) ○○工業高校

プランの対象者：高校生、小学生 (高学年)  
保護者・PTA、地域住民・社会人、一般・高齢者等  
プランの実施形態：従来型

かまどベンチづくりで子どもからお年寄りまで参加し、防災減災に欠かせない「人のつながり」をつくり被災後の心のケアにつなげると共に、学校や行政との連携を研究し災害に強い地域を作ることとした事例

例(B) ○○防災会

教育対象者：地域住民・防災関係者  
プランの実施形態：従来 + オンライン型

保護者・自治体・地域住民に対する「子どもに関する防災意識」向上の呼びかけと教育モデルの提供を行うために、ワークショップに向けテキスト案を作成し、中間報告会において披露し、防災教育チャレンジプラン実行委員会の助言を参考にテキストの最終原稿を作成した事例

例(C) NPO法人○○

プランの実施形態：オンデマンド + オンライン型

活動計画の発表 (活動報告会にて)

活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

・活動準備

・材料・器具の準備  
・かまど調査研究  
・高齢者災害時生活支援学習  
・意見交換会開催  
・プランの具体化

・活動計画の発表 (活動報告会にて)

・活動報告会での助言を受けて、活動計画の見直し

新しい発想のチャレンジをお待ちしています

※報告会には、報告書 (中間/最終)、発表資料 (中間/最終)、展示資料[任意]、配布資料[任意]を準備していただきます。

過去の受賞団体と活動の様子

防災教育大賞

目黒星美学園中学高等学校

地域に広げたい「わくわく防災減災」

一長期的視点を持った防災教育を通じ、自ら考え生き残り・生き延びられる人材を育てる一



学校の日常に防災を溶け込ませ、様々な教科を防災に結び付け、生徒の防災意識を高める防災教育に取り組んだ点、他の団体へ横展開できる防災教育の具体的なモデルプランを実践した点等が高く評価されました。

防災教育優秀賞

岡崎市立常磐東小学校

地域・学校・関係諸機関が連携した防災活動

京都市立正親小学校

守れ正親 こども防災隊

防災教育特別賞

高知県立大方高等学校

高校生が作る「地区防災計画」

ミラクルウィッシュ

さんだ女子防災部

UR都市機構 (尾山台団地自治会)

～安心・安全 団地でサバイバル (在宅避難)～

防災教育大賞

上富田ふれあいルーム

完成版 上富田ふれあいルーム 防災年間計画!

「季節のイベント防災カレンダー」(季節の行事で学ぼう!!)製作



1年間の行事に防災を結び付け、防災の日常化に取り組んでいる点、子供が楽しんで実施できる内容で記憶にも残る取り組みである点、多彩な防災プランがどれも汎用性、有効性があり水平展開を期待できる点等が高く評価されました。

防災教育優秀賞

四国遍路の心でつなぐ防災教育研究会

みんな集まれ この指とまれ 防災の輪っけ

～生涯学習として楽しく学べる防災の仕組みづくり～

高知県立大方高等学校

高校生が作る地区防災計画

防災教育特別賞

目黒星美学園中学高等学校

わくわく防災減災一逆転の発想で生徒を変え、

生徒が地域を変える防災教育の提案一

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部

医療福祉デザイン学科

つなぐ ～地域、企業、行政、学校の架け橋を目指して～

新型コロナ禍の防災教育一新たなまなび・続けるまなびのチャレンジ

2020年の日本は新型コロナ感染症の流行によって、かつてない毎日を送っています。新型コロナウイルスも、私たちの生活に大きな影響をもたらす災害の一つです。災害に立ち向かうためには、私たちひとりひとりの防災力を高め、強くなれる社会を目指し、実現することが必要です。その意味では新型コロナウイルス禍をのりこえる社会の実現にむけたチャレンジが必要です。

防災教育チャレンジプランでは2005年から、次の世代を担う子供達を中心とした家庭や地域の防災に関わる能力の向上を図ることにより社会全体の防災力を向上させることを使命として、防災教育の新しい試み、アイデアによる活動を支援してきました。

新型コロナ禍は「新しい生活様式」や「新たな日常」を生み出したと言われています。そのひとつに、「まなびのスタイル」にも大きな変化が生まれました。これまで主流だった「対面」型に加えて、ICTを活用する従来の制約を超えた「遠隔」型の普及です。そこには皆が同時に参加する「オンライン」型、事前に用意された教材を個別にまなぶ「オンデマンド」型があります。そしてオンデマンド型の取組みの増加は、対面型のまなびでの視聴覚教材を活用したカリキュラムマネジメントも促進します。それによってより深いまなび、より多様な気づきが期待されます。

	対面	遠隔
同時「なま」	従来型	オンライン
事前収録	視聴覚教材	オンデマンド

2021年度の防災教育チャレンジプランでは、新型コロナウイルス禍を新たな「まなびのきっかけ」とするチャレンジを積極的に募集します。内容としての新型コロナウイルス禍を選ぶだけでなく、新型コロナウイルス禍がきっかけとして生まれた「まなびのスタイル」を活用したオンライン型やオンデマンド型のチャレンジも歓迎です。

**みなさんのチャレンジを  
お待ちしております。**



## 募集概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けた防災教育チャレンジプランアドバイザーによる従来・オンラインでのアドバイスなどの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会で発表、さらに実践した内容について、交流フォーラム（中間報告会）と活動報告会で発表していただきます。

活動報告会においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を授与します。

これからの時代の防災教育として、オンラインやオンデマンドを活用した活動など、様々なチャレンジをサポートし、その成果はホームページなどで幅広く公開します。

### 【サポートの内容】

- プランの実践にかかる経費の提供／上限 30 万円（査定による）  
※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。
- 交流フォーラム（中間報告会）・活動報告会発表者への交通・宿泊費の支給。（1名分×3回分）※社会情勢等によりオンライン開催となった場合はタブレット、wifiルーター等の機材を貸与します。
- プランの実現に向けて、下記のサポート主体が対面・オンライン問わず助言や現地指導等の支援を行います。
- 防災活動の手法・事例の収集と活動情報の発信ができる各種webツールを提供します。

### 【サポート主体】

- 防災教育チャレンジプランアドバイザー  
・防災教育チャレンジプラン実行委員  
・防災科学技術研究所研究員  
・サポーター（過去の実践団体）  
・その他防災教育専門家等
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局

### 【表彰】

- 活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与いたします。
- 防災教育チャレンジプラン「サポーター」として認定いたします。

## 応募資格

- ・防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、民間企業、個人、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）
- ・採用された場合は、現地開催・オンライン開催問わず実践団体決定会、中間報告会、活動報告会の計3回の会合に出席できること。

## 応募部門（プランの対象別）

- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| A. 保育園・幼稚園等の部 | B. 小学校低学年の部 | C. 小学校高学年の部 |
| D. 中学校の部      | E. 高等学校の部   | F. 大学・一般の部  |

## 応募方法

ホームページ（<http://www.bosai-study.net>）より事前登録後、応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上ホームページへアップロードしてください。

## 応募締め切り

2020年11月30日（月）

## 審査

「防災教育チャレンジプラン実行委員会」の選考により決定します。  
審査の結果は、事務局よりメールにて応募団体へご連絡します。（応募締め切り後1ヶ月程度）

### 【審査の観点】

- ・プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
- ・応募された防災教育プランの有効性・新規性
- ・活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

### 【次年度チャレンジプランの発表】

- ・当年度の活動報告会の会場にて、次年度チャレンジプランの計画を発表いただきます。

## 応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局  
E-mail: [cpinfo2865@bosai-study.net](mailto:cpinfo2865@bosai-study.net) / FAX: 03-3556-8217



河川 公益財団法人河川財団による  
基金 河川基金の助成を受けています。

## Disaster Management Education Challenge Plan 防災教育チャレンジプランの流れ

### 1 募集

応募締め切り2020年11月30日（月）  
教育・社会福祉施設／教育委員会／NPO／地域団体／個人

### 2 審査

2021年1月

### 3 決定発表

2021年2月13日（土）  
2020年度防災教育チャレンジプラン活動報告会  
開催（会場：都内会場＋オンライン開催）  
○2021年度チャレンジプラン（活動計画）発表  
○2020年度チャレンジプラン成果発表・表彰  
（防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定）  
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換等

### 4 実践

2021年4月～2022年3月  
2021年度  
防災教育チャレンジプランの実践  
○チャレンジプランへのサポート  
プラン進行や教材作成にあたってのアイデア提供・  
資料提供等  
○アドバイザー等の紹介・派遣等

### 5 中間報告会

2021年10月（予定）  
2021年度防災教育交流フォーラム  
開催（会場：都内会場＋オンライン開催）  
○2021年度チャレンジプラン中間報告  
○交流会・意見交換会  
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換・事例紹介等

### 6 活動報告会

2022年2月（予定）  
2021年度防災教育チャレンジプラン活動報告会  
開催（会場：都内会場＋オンライン開催）  
○2021年度チャレンジプラン成果発表・表彰  
（防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定）  
○防災教育チャレンジプランサポーターに認定  
○2022年度チャレンジプラン発表

## 2020年度防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員一覧

委員長	春男	国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
市川	啓一	株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役
井上	浩一	防災ネットワークプラン 代表
鍵屋	一	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授
金田	義行	香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 機構長
		地域強靱化研究センター長・学長特別補佐・特任教授
木村	玲歌	兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学専攻 教授
岡崎	信江	危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー
栗田	嶋之	認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
齊藤	清一	特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 事務局長
酒井	慎一	東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授
生藤	公治	南三陸町立歌津中学校 主幹教諭
生藤	健	東北大学災害科学国際研究所情報管理・社会連携部門災害復興実践学専攻 教授
澤野	次郎	災害救援ボランティア推進委員会 委員長
諏訪	清二	防災学習アドバイザー・コラボレーター
瀬川	猛	千葉県立市原特別支援学校 教頭
中川	和之	株式会社時事通信社 解説委員
中村	一樹	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 イノベーション共創本部 共創推進室 室長
平田	直	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長 兼 東京大学地震研究所特任研究員
福和	伸夫	名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授
仲江	伸江	神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 准教授
舟生	岳夫	セコム株式会社 I S 研究所リスクマネジメントG 主務研究員
松尾	知純	防災ゲート・パートナーズ 代表
三浦	伸也	国立研究開発法人防災科学技術研究所防災情報研究部門 主幹研究員
鹿島	正重	東京都立両国高等学校附属中学校 主幹教諭
栗井	明彦	文部科学省総合政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室長
五島	政一	国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部 総括研究官
齋藤	憲一郎	文部科学省研究開発局 防災研究課 防災科学技術推進室長
名越	一郎	消防庁国民保護・防災部 防災課 地域防災室長
中尾	晃史	内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（普及啓発・連携担当）
里村	真吾	国土交通省 水管理・国土保全局防災課 防災企画官
矢崎	明吉	内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（調査・企画担当）

（2020年8月1日現在） 一部は臨時代理（敬称略）

# 2021 年度 防災教育 チャレンジ プラン募集

オンライン型や  
オンデマンド型の  
チャレンジも歓迎です。



## Disaster Management Education Challenge Plan

## 防災教育チャレンジプランとは？

全国の地域や学校で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や、質の向上に役立つ  
共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。

## 防災教育交流フォーラム

2020年10月3日（土）  
2020年10月4日（日）

オンラインにて開催

防災教育チャレンジプランは、  
2020年度防災教育交流フォーラムの  
一部をほうさいこくたい2020と  
連携して開催します。

ほうさいこくたいとは？  
ご家族連れから専門家まで  
幅広い方が防災を学べる  
日本最大級の防災イベントです。

応募締め切りは  
2020年11月30日（月）

## 2020年度防災教育チャレンジプラン活動報告会

2021年2月13日（土）：都内会場＋オンライン開催

2020年度防災教育チャレンジプラン実践団体による成果発表と、新たに採択された2021年度防災教育  
チャレンジプラン実践団体による1年間の活動プランの発表を行います。

ご来場の際にはホームページ（<http://www.bosai-study.net>）にて事前登録をお願いします。

主催：防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府（防災担当）、国立研究開発法人 防災科学技術研究所

共催：一般社団法人防災教育普及協会

後援：消防庁、文部科学省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本赤十字社、  
全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会、防災未来館ほうさい甲子園事務局

[www.bosai-study.net](http://www.bosai-study.net)